

朝み発第593号

令和05年01月25日

国土交通大臣 殿

朝霞市長

社会資本総合整備計画の変更について

令和02年12月25日 付け 朝み発第455号 で提出した、社会資本総合整備計画について、別添のとおり変更するので提出する。

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和04年11月30日

計画の名称	安全・安心な公園づくりの推進（防災・安全）													
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	朝霞市													
計画の目標	朝霞市の都市公園は開設後30年以上経過した都市公園が多く、長寿命化計画に基づき、計画的・効果的な公園施設の更新・改修を行うことにより、施設の老朽化等による事故を防止し、市民が安全で安心して利用できる公園づくりを推進する。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		120	A	120	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初	R2末	R6末
1	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設（遊具等）の割合を61%（R2当初）から93%（R6末）に増加 都市公園施設の改築・更新達成率 都市公園施設の改築・更新達成率（%）=（改築・更新実施済施設数）/（対象公園施設数：131施設）	61%	73%	93%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																			
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(城山公園他35箇所)(5か年老朽)	長寿命化対策(城山公園等36箇所における遊戯施設等の改築)	朝霞市						30	-	-
	長寿命化対策(30百万円)																		
	A12-002	公園	一般	朝霞市	直接	朝霞市	-	-	公園施設長寿命化対策支援事業(城山公園他35箇所)	長寿命化対策(城山公園等36箇所における遊戯施設等の改築)	朝霞市						90		-
	長寿命化対策(90百万円)																		
												小計						120	
											合計						120		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R02				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 安全・安心な公園づくりの推進（防災・安全）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画等との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 事業の必要性という観点から位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標と事業の内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施に向け地元の協力がある。	○
III. 計画の実現可能性 継続的な事業展開が見込まれている。	○